

安全性による信頼を勝ち取る

放射線量管理システム

福島第一原発事故の影響により、日本からの輸出貨物の放射線量に関しては今後長期間に渡って、強く意識されることが予想されます。本システムでは、測定した貨物の放射線量をデータとして入庫番号ごとに管理し、測定結果を書類として印刷することが出来ます。

ご利用イメージ

①搬入時に、入庫番号ラベルを貼り付け、スキャナーで読み取ります。

②ガイガーカウンタ (451P) で、放射線量を測定します。データは入庫番号ごとにシステムで管理されます。

■放射線量の測定結果をデータとして管理!

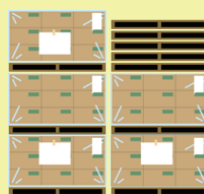


「放射線量管理システム」

「USB スキャナー」



「ガイガーカウンタ (451P)」



■入庫時の検査により、他の貨物・倉庫内作業者の安全を確保!



③放射線量が予め設定した制限値を超える場合には、アラートを発生させます。

④必要に応じて、放射線量測定結果を印刷します。

■測定結果を印刷することにより、貨物の安全性をアピール!



【ガイガーカウンタについて】

60年以上の歴史をもつ伝統企業 FLUKE 社の製品「451P 型」は、コンピューターに直接接続できるインターフェースをもつ数少ない製品で、測定結果をデータとして管理できるという大きなメリットがあります。

他のほとんどの測定機器は、結果を人的パワーで書き写して記録する必要があるため、手間がかかりミスを招く原因にも成りかねません。生産の経験が長い信頼のおける測定機器による提供をお約束いたします。

国際基準では、通常貨物に対しては放射線量の測定は基準が定められておらず、現在のところは任意の検査となっています。測定結果の記録、報告、及び結果に対する判断は荷主様に任されています。本システムで印刷できる測定結果についても、法的な拘束力はありません。しかし、顧客の信頼を得る為には、測定とその結果の証明が必要不可欠となっています。測定業務は公的機関で行っていますが、1回辺り数万円の料金がかかるというかなり高額なサービスとなっています。

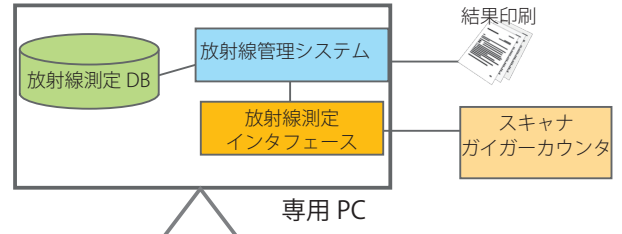
本システムを導入することで、公的機関の測定サービスを受ける必要はなくなり、導入費、保守費用、人件費のみで運用が可能となります。

基本機能・システム構成・画面イメージ

<基本機能>

- 放射線量の測定
- 測定結果保管・印刷
- その他、バーコード印刷など

<システム構成>



<画面イメージ>

[メインメニュー]

[放射線量検査画面]

[検査データ検索・印刷画面]

[検査数値一覧]

[測定結果サンプル・PDF]

価格

	数量	費用 (*3)
放射線管理システム	1 式	¥ 500,000
システム年間保守費用 (*1)	—	¥ 75,000
FULKE 社製 451P(*2)	1 台	¥ 440,000
USB スキャナー	1 台	¥ 8,000
	税抜合計	¥ 1,023,000

*1 年間保守料金は、システム費用の15%となります。

*2 放射線測定装置は品薄となっております。納期の確約はできません。

*3 価格は全て税抜きです。別途消費税が掛かります。

開発元
株式会社ちゅら IT-PRO

本店
〒 279-0043 千葉県浦安市富士見 5-22-20-202
TEL : 047-355-8835

販売元・お問い合わせ先
株式会社 Systems Engineering & Services

営業本部 営業グループ
〒 105-0003 東京都港区西新橋 3-23-5 御成門郵船ビル
TEL : 03-3578-1088
受付時間：月～金 9:00～17:00 ※除祝祭日